

大阪市立 東小橋小学校

所在地 〒537-0024 東成区東小橋3-10-37

電話 06-6971-3000

校長名 中村 文

学級数 8学級 (内 特別支援学級2)

児童数 119人 標準服 無 集団登校 無



学校概要

本校は昭和6年 鶴橋第三小学校（現大成小学校）から東小橋地域に東小橋分校として独立設置され、昭和7年3月4日 大阪市立東小橋尋常小学校として開校いたしました。その後、昭和16年4月1日 大阪市立東小橋国民学校との改称を経て、昭和22年4月1日 大阪市立東小橋小学校となりました。昭和57年に創立50周年を迎え、本年度で89年目の歴史と伝統のある学校です。

「運営に関する計画」の概要

子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

- ①令和3年度末の校内児童アンケートの「自分からすすんであいさつをしています」の項目の肯定的な回答の割合を昨年度（84%以上）より向上させる。
- ②令和3年度末の校内保護者学校教育アンケートで「学校は、健康的な生活習慣が身につくような取り組みを行っている」の項目の「達成できている」の回答の割合を5段階の4.0以上にする。

心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

- ①令和3年度末校内児童アンケートにおいて、「勉強をがんばっている」の肯定的な回答を80%以上にする。

学力の状況と学力向上に向けた取り組み

令和元年度「全国学力・学習状況調査」を領域別に大阪市平均と比較すると、国語では同じポイントである。国語の「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に課題があるため、相手や意図に応じて自分の考えを明確にし、まとめて書くこと、情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方を工夫させたり、自分が書いた文章を見直す学習の中で、文脈に沿った正しい使い方を習得させたりする学習等を取り入れるようにしたい。同様に算数では大阪市平均を4ポイント上回っている。課題の解決にむけ日常生活におい

て、データを処理する方法を適切に用いて判断したり、工夫してデータを処理できる良さを実感したりすることができる指導を進めたい。今後は、始業前の学習タイムの充実、ICTを活用した学習の推進、習熟度別少人数指導の充実に取り組み更なる学力の向上を図りたい。



体力の状況と体力向上に向けた取り組み

令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果、男子に関しては、上体おこし、50m走、ソフトボール投げで全国・大阪市を上回る結果となった。女子に関しては、上体おこし、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げで全国・大阪市を上回る結果となったが、男子は大阪市よりも上回ったが全国を下回る結果となった。今後、体育科学習において体力向上の工夫を図るとともに、体育集会や児童集会において体力の向上を図りたい。



※平成31年度（令和元年度）「全国学力・学習状況調査」及び「全国体力・運動能力、運動習慣調査」の結果等について、大阪市教育委員会では、調査参加学年が単学級の学校の校長は調査結果等を公表しないことができるものとしていることから平均正答率等は公表しておりません。

ひとりひとりを大切にし、豊かな心を育てる

～人にやさしく、元気な『東小橋っ子』の育成～



研究主題を「主体的に取り組む（子どもたち）（教師たち）をめざして」と掲げている。2つの目標を、「主体的に取り組む子どもたちの姿やことばを、授業の中から見つけていく」「子どもたちが主体的に取り組むようになるような『問い』や『しかけ』を試行錯誤しながらつづいていく」と設定し、次のことを目指して取り組んでいく。

- 主体的に取り組むことができる学級集団をつくる。
- 児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。
- 教師の指導力の向上を図る。

目指す子ども像

- 自らすすんで学習する子
 - 基礎的、基本的な事項の定着を図る
 - よく考え自ら学ぶ意欲と態度を育てる
- 仲間を大切にする子
 - 個性の伸長を図る
 - 互いに認め合い、支え合う集団を育てる
- 人の気持ちを考えて行動できる子
 - 豊かな心を育む
 - 他者の立場にたって考える態度を育てる
- 最後までやりとおす子
 - 健康でたくましい心身を育てる
 - 自立的な生活習慣を育てる
 - 正しい食に関する知識と実践力を高める

